



あなたのイチオシは？

～ミステリ特集～

Agatha Christie

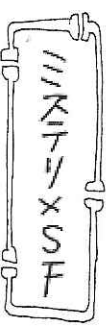
映画『オリエント急行殺人事件』が昨年公開されたり、日本では『そして誰もいなくなった』や『アクロイド殺し』がドラマ化されたり。没後四十年以上が過ぎててもなお、『ミステリの女王』に君臨するアガサ・クリスティー。「クリスティーのイチオシって、なんだらう」と、ファンなら一度は考えたことがあるのではないだろうか？

容疑者は乗客全員！

『オリエント急行殺人事件』、かつてこれほどまで豪華なキャストが集結したミステリ映画があつただろうか。原作者はご存知、ミステリの女王アガサ・クリスティー。彼女の傑作小説の主人公を名優(そして名監督という面も)ケネス・ブラナーが演じ、脇を固めるのはジョニー・デップ、ペネロペ・クルスといった豪華俳優たち。演技面では何の心配も無用の作品ではあるが、さらに注目していたきたいのは吹き替えを務める日本人キャスト。主人公ポアロは草刈正雄、ドラゴミロフ公爵夫人は山村紅葉、エドワード・ラチエットは平田広明等々：吹き替えの名演技でも作品を二度楽しめそうだ。

あらゆる謎を石物の関連性から解きほぐす

伝説の英国コメディ SF『銀河ヒッチハイク・ガイド』の故ダグラス・アダムスが遺した、前代未聞の奇想ミステリ『ダーク・ジェントリイ』全体論的探偵事務所が、ついに邦訳されました。本書は「万物が万物と関わり合っていて、まったく関係のなさそうなことから真実が読みとれる」



冒頭から人間の代わりモノを信じてくれる電動修道士の登場に始まり、イギリスの詩人サミュエル・テイラー・コールリッジの詩の引用や、果ては量子力学への言及など荒唐無稽な描写のオンパレードで、完全に読者を置いてきぼりにしながらストーリーは進んでいきます。一応、探偵小説の形態を保ちながら、この伏線、回収できるのかな？と思いつつ、残り百ページ辺りから怒涛の展開をみせます。かなり強引に、果たしてこの小説が一般的ミステリかと言えれば留保はありますが、ありきたりなミステリでは得られない読書体験がこの小説にはあります。

【DVD情報】『オリエント急行殺人事件』(20世紀FOX・ブルーレイ&DVD版 三九九〇円)

小舟から大船だけとすな

ミステリマンガの代表作『金田一少年の事件簿』の外伝『犯人たちの事件簿』。何巻だったかは覚えていませんが、「サバゲーで訪れた島に日本人軍人が潜んでいて、死体が木っ端微塵にならず。ストーリーやトリックは思い出せないけれど、その描写がとにかく怖いという点で、『金田一少年』はそもそも事件の布石である

まう：・というタイムリプを題材にした『七回死んだ男』。『ノックスの十戒』は守られていませんが、前提条件以上の理不尽な超常現象が起こるわけではなていいます。本格派好きには邪道かもしれませんが、物語としても読みやすく、入門におすすめる作品です。『タムリプ』を扱った作品は最近でも多くあり、『Oranbell』君の名は『古い作品(1959年)ではありますが、遜色ないエンタメ作品としても楽しめるます。またこの著者は他の作品でも様々な超能力を登場させたミステリを書いているため、こういっただけでミステリが好きというか

る「曰く」や「伝説」がその設定で怖い。また事件描写が何か生々しい。怖いけど続きが気になる怖いけど、と読み進めたものですが、それがまさかのギャグスピントフと

もしも、人の死を予知することができたなら。そして、その運命を変えることができたなら。私は考えたこともないわけですが、『誰も死なないミステリを君に』は、そんなお話です。事件が起こるかもしれない状況で、死を予告されない人となら、どちらが犯人なのかは一目瞭然。名探偵はお役御免。のはずですが、果たしてそう上手いくのでしようか。でも、ミステリの世界で事件を未然に防ぐ一番の方法は、名探偵たちが出歩かないことなのかも。金田一少年もコナン君も浅田光彦も、もう人里離れた山奥の別荘とか、孤島とか行っちゃダメだから